

# 5 メンテナンスの実際

## 1

### メンテナンスのスケジュール

コンソールタイプ(タッチパネルあり)の場合 例

毎日	毎週	毎月	各患者の検査後
二次汚染の可能性があるため、以下の部分を清掃、消毒してください。 ・オペレータコントロールパネルとタッチパネル ・モニタフレーム ・フロントハンドルとリアハンドル ※日常点検表参照	次の部分の清掃は毎週行ってください。 ・コンソール ・システムキャビネット ・取り外し可能なトラックボール ・エアフィルタ(毎週または必要に応じて) ・フットスイッチ ・白黒プリンタ ・CD/DVD マルチドライブ(モニタとモニタフレーム(毎日及び毎週)) ・オペレータコントロールパネルとタッチパネル(毎日及び毎週)	次の項目は毎月点検してください。 ・ケーブルコネクタの機械的不具合 ・電源ケーブル全体の傷または摩耗、ねじれ ・ハードウェアのゆるみや欠落 ・コントロールパネルおよびキーボードの不具合 ・キャストの正しい移動とロック動作	各患者の検査後に以下の部分を清掃、消毒します。 ・プローブ ・穿刺ホルダ(必要に応じて) また、前の検査で目に見える汚れが付着した場合はその部分を清掃、消毒します。 注：プローブの洗浄と消毒に関してはプローブのメンテナンスを参照してください。

番号	点検項目	点検頻度	日																																							
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31									
1	電源、ケーブルコネクタを確認し、接続、ゆるみや破損がないこと	最終点検時																																								

## 2

### 外観チェック

#### 本体

- ・本体破損やネジの緩み
- ・電源ケーブル断線、ねじれの有無
- ・キャストロック効き

#### プローブ

- ・レンズ面の破損
- ・ケースひび割れ
- ・拭き残したゲルの有無
- ・ケーブル断線、ねじれの有無

#### モニタ

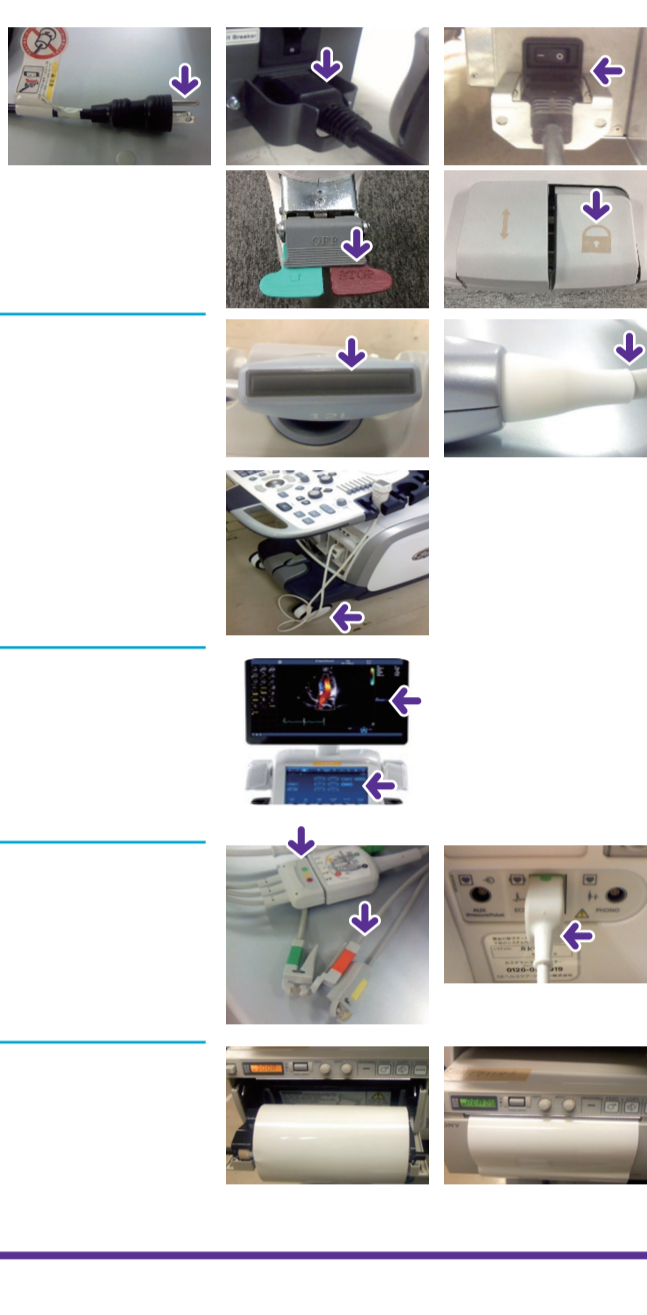
- ・大きな傷・破損

#### 心電図電極

- ・ケーブル断線、ねじれの有無

#### 記録装置

- ・記録時の異音の有無
- ・記録紙はきちんと入っているか
- ・画像出力は正常に表示されるか



### Point

心電図電極やプローブコネクタ部分の破損がないか確認してください。ノイズの原因になります。

## 3

### データ保護について

保存メディアやハードディスク等にデータを保存する場合は、保存メディアまたはハードディスクが壊れる可能性がありますので、必ずバックアップコピーをとってください。画像など長期保存が必要な場合には、毎日バックアップすることをお勧めします。機器のプリセットパラメーター変更などを行った場合も同様に、保存メディア等に必ずバックアップを取ってください。病院/施設ごとにバックアップ計画を決めることや、バックアップ担当責任者を指定して常にこの計画に従ってバックアップを行ってください。バックアップに関しては、各製品ごとの取扱説明書を確認していただき、手順に従った方法で行ってください。

⚠️ 消失したデータに対する責任は負いません。消失データの復元もお手伝いできませんのでご注意ください。

## 4

### ハードディスクの残容量について

使用開始前に、ハードディスク容量の確認をしてください。作業中に容量をオーバーすると操作ができなくなる可能性があります。

## 5

### 駆動用バッテリーについて

ポータブルタイプの超音波診断装置には、バッテリーが装備されています。バッテリーは、有寿命の消耗品です。使用方法等については各装置のユーザーマニュアルを参照ください。



### Point

バックアップ計画の策定や担当者を決め計画的に履行する事が重要です。

## 6

### トラックボールの清掃 —メカ式—

カーソルの動きが悪くなった場合にはトラックボールの清掃をしてください。

ローラーを清掃する際は、トラックボール収納部(キーボードまたはシステム)に液体をこぼしたり、吹き付けられないよう注意してください。トラックボール部品の清掃には、エタノール、イソプロピルアルコールを使用してください。他の溶剤は使用しないでください。トラックボール部品を損傷する可能性があります。

※アルコール等が使用できない場合もありますので取扱説明書等を必ず参照ください。機種によっては、ユーザーがトラックボールの清掃をできない場合もあります。



## 7

### トラックボールの清掃 —光学式—

カーソルの動きが悪くなった場合にはトラックボールの清掃をしてください。

内部を清掃する際は、トラックボール収納部(キーボードまたはシステム)に液体をこぼしたり、吹き付けられないよう注意してください。トラックボール部品の清掃には、エタノール、イソプロピルアルコールを使用してください。他の溶剤は使用しないでください。トラックボール部品を損傷する可能性があります。

※アルコール等が使用できない場合もありますので取扱説明書等を必ず参照ください。機種によっては、ユーザーがトラックボールの清掃をできない場合もあります。

